

# 目次

## 第1章 人間とはなにか

- 1-1 自然としての人間 (ヒト)
- 1-2 生物とはなにか
- 1-3 生物としての人間 (ヒト)
- 1-4 動物としての人間(ヒト)
- 1-5 人間(ヒト)の強み
- 1-6 人間(ヒト)の弱み
- 1-7 生きる目的
- 1-8 宗教とはなにか
- 1-9 道徳とはなにか
- 1-10 人間 (ヒト)とこころ

## 第2章 人間分子論

- 2-1 人間分子論 1—流体力学的アナロジー
- 2-2 人間分子論 2—生物相におけるマクロな循環
- 2-3 人間分子論 3—生物相におけるミクロな循環
- 2-4 人間分子論 4—文明相におけるマクロな循環
- 2-5 人間分子論 5—文明相におけるミクロな循環
- 2-6 人間分子の挙動 1—総論
- 2-7 人間分子の挙動 2—個性
- 2-8 人間分子の挙動 3—棲み分け
- 2-9 人間分子の相互作用 1—引力と斥力
- 2-10 人間分子の相互作用 2—他分子との接触方法
- 2-11 人間分子の相互作用 3—正の循環と負の循環
- 2-12 人間分子の相互作用 4—善玉分子と悪玉分子

## 第3章 理系的幸福論

- 3-1 理系的幸福論としての手法
- 3-2 幸福の定義—自律的精神充足
- 3-3 幸福の外的要因説と内的要因説
- 3-4 幸せの手段—外的要因
- 3-5 同化—自然を愛でる
- 3-6 機化—生物機能の発揮
- 3-7 質化—質の追求
- 3-8 知化—社会的遺伝子の獲得
- 3-9 昇化—独創的活動
- 3-10 和化—無償の施し
- 3-11 内的要因の制限因子
- 3-12 幸せの収支決算—費用と便益
- 3-13 幸せのプロジェクト